

運動部活動とスポーツピアとの連携

～多久市部活動改革の取り組みについて～
多久市教育委員会学校教育課 中西順也

九州ブロッククラブネット
ワークアクション2021
2021. 11. 27 (土)
佐賀県スポーツ会館

部活動の現状（2021年度）

	野球	サッカー	バレーボール	卓球	剣道	ハンドボール	ソフトボール	ソフトテニス	総合文化	吹奏楽	美術	合計
東原庁舎東部校	○	○	○						○			4
東原庁舎中央校	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	10
東原庁舎西溪校	○	○	○	○	○				○			6

- ・ 少子化による生徒数減
- ・ 部活動の数の減
- ・ チームスポーツでは人数減により単独校では大会参加も難しくなっている



- ・ 合同チームによる大会参加
- ・ 「やりたい部活が学校にない」と考える生徒が存在する状況

部活動加入状況（2021年度）

		野球	サッカー	ソフトボール	ソフトテニス男	ソフトテニス女	ハンドボール男	ハンドボール女	バレーボール	卓球男	卓球女	剣道	美術	総合文化	吹奏楽	合計数	加入率%
東原庁舎東部校	7年	3	3						12					0		18	42
	8年	7	5						7					0		19	59
	9年	2	7						4					0		13	46
東原庁舎中央校	7年	4	5	5	6	8	8	2	4	2	5	3	5		5	62	73
	8年	5	4	12	4	11	5	0	7	0	2	5	5		5	65	72
	9年	5	7	3	8	7	13	5	2	4	7	2	5		4	72	90
東原庁舎西溪校	7年	1	1						3		2	1		0		8	28
	8年	2	3						3		7	6		0		21	70
	9年	1	5						4		1	3		0		14	54
合計		30	40	20	18	26	26	7	46	6	24	20	15	0	14	292	66

多久市のこれまでの取り組み (2016~2018)

2016年度

これからの部活動のあり方検討委員会開催 (3回)

提
言

- ・生徒の体験・発表の場を提供する。
- ・合同練習、合同チーム進める
- ・移動手段として、多久市スクールバスを利用する。

2017年度

これからの部活動のあり方検討委員会開催 (5回)

- ・アンケート実施、各校の意見集約
- ※東部一西溪サッカー部合同練習開始

2018年度

これからの部活動のあり方検討委員会開催 (2回)

- ・多久市義務教育学校に係る運動部活動の方針策定
- ・各義務教育学校において運動部活動の方針策定

多久市のこれまでの取り組み(2019)

多久市生徒のスポーツ環境整備改善計画を策定

- 次世代を担う児童生徒育成のためにスポーツ環境を整備し、一人一人のスポーツライフを豊かにする
- 児童生徒の可能性を広げ、各種スポーツの競技力を向上させる
- 多久市民に勇気と希望を与える

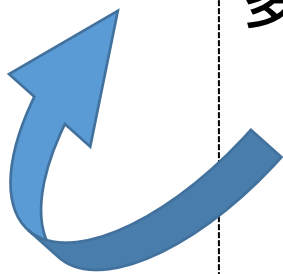
多久市の「スポーツ活動を行う上でのストロングポイント」

①各種スポーツ施設の充実、

②総合型スポーツクラブ

多久スポーツピアの存在、

③17台のスクールバスを有する等



多久市の生徒のスポーツ環境の整備改善計画

	目 標	具体的な取り組み等
フェーズ 1	スポーツピアの既存のクラブと学校との連携	スクールバスによるジュニアサークル部員の送り
フェーズ 2	学校間の合同部活動の実施 (東原庁舎部活動構想)	月 1 回以上の合同練習会の実施 中体連へ合同チームでの出場
フェーズ 3	社会体育化への準備	スポーツピアにジュニアユースクラブを立ち上げる
フェーズ 4	スポーツピアを中心とした社会体育へ移行	部活動からスポーツピアへ スクールバス契約の見直し

多久市のこれまでの取り組み(2020年度)

～多久市生徒のスポーツ環境整備改善計画進展に向けて～

- ・ 市教委と多久市体育協会、スポーツピアとの話し合いを行う（組織、指導者の件）※4月、5月
- ・ 月1回の合同部活動開始
- ・ スポーツピアとの話し合い（組織、休日の部活動の段階的な地域移行について）※1月、2月
- ・ 市内各学校へ説明（スポーツ環境整備完全計画の進捗状況と休日部活動の地域移行について）※3月
- ・ 体協理事会での説明と依頼

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革を国が推進

多久に追い
ついてきた

学校と地域が協働・融合した部活動の具体的な実現方策とスケジュールを明示

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革のスケジュール



令和3年度 休日の部活動の段階的な地域移行

R5年部活動改革
の全国展開

休日の部活動の段階的
な地域移行

休日の部活動の指導を望
まない教師が部活動に従
事しない環境の構築

地域部活動推進のための実践研究
⇒多久がモデル地域

教職員は、平日は部活動顧問として生徒を指導し、休日は地域の指導者として指導

部活動指導員は、休日、地域の指導者として生徒を指導

生徒は、平日は学校部活動として練習し、休日は地域のクラブで練習等を行う

2021年度の具体的取り組み

部活動改革について職員の共通理解を図る

→ 夏季休業中に職員への説明の機会を作る（日程調整を）

部活動改革について保護者への周知を図る

→ 2学期中に保護者への説明の機会を作る（日程調整を）

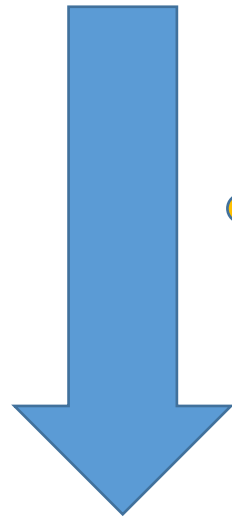
どの学校も、8部活に入部できる体制を整える

R3. 8月から社会体育での取り組みを可能とするために、部活動部員のスポーツ保険加入を、7月末までに完了する※部員名簿の提出を

指導者の確保（学校、部活指導員、競技団体、保護者 等）

多久市からの方向性の提案

公的クラブ（休日移行型）

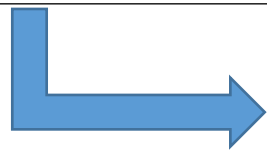


公的クラブ：
多久スポーツピアを生かしながら
徐々に…

公的クラブ（完全移行型）

さいごに

- 児童生徒の「やりたいスポーツ」ができる環境を作る
- 「もっと上手になりたい」「もっと強くなりたい」と思う児童生徒の気持ちに応えられる体制づくり
- 指導者が「指導したいスポーツ」に関わる環境づくり



環境を作るのは「大人」

多久スポーツピアとともに！！